日本語版 FES-I

A｜16項目の質問票・採点／質問文・選択肢は公式日本語版を使用。

氏名／ID：_____ 評価日：_____ 評価者：_____

あなたが、普段どのくらい転ばないように気を遣って行動しているのかをお聞きします。以下の質問にある行動に対して、あなたがどのくらい“転ぶかもしれない”と気を遣いながら行なっているのか、最も当てはまると思われるものに丸をしてください。ただし、あなたの普段の状態を考えてお答えください。質問内容が、あなたが現在行なっていない内容であった場合（例えば、買い物は、他の誰かが代わりに行ってくれている）、もし、あなたが行なった場合に、どのくらい気を遣うかを想定してお答えください。

1＝まったく気を遣わない 2＝どちらかというと気を遣う
3＝かなり気を遣う 4＝とても気を遣う

番号	行動	回答（数字に○）			
1	家の掃除をする（掃き掃除や掃除機での掃除）	1	2	3	4
2	着替えをする（普段の衣服の着脱）	1	2	3	4
3	簡単な食事の準備をする（普段の食事の準備）	1	2	3	4
4	自宅の浴槽への出入りをする	1	2	3	4
5	日用の食料品の買い物をする	1	2	3	4
6	椅子から立つ、または椅子に座る	1	2	3	4
7	階段の昇り降り（家の階段に限らない）	1	2	3	4
8	近所の散歩	1	2	3	4

質問3：お祝いなどの特別な食事の準備は除く。

次ページの質問9〜16も回答してください。

日本語版 FES-I

A｜質問9〜16・合計／本人記入または面接で回答します。

氏名／ID：_____ 評価日：_____ 評価者：_____

1＝まったく気を遣わない 2＝どちらかというと気を遣う
3＝かなり気を遣う 4＝とても気を遣う

番号	行動	回答（数字に○）			
9	床の上の物、または頭上の物を取る	1	2	3	4
10	電話の呼び出し音が鳴り止む前に、受話器を取る	1	2	3	4
11	滑りやすい路面を歩く（濡れた路面、凍った路面などを歩く）	1	2	3	4
12	親しい友人や親戚を訪ねる	1	2	3	4
13	人混みの中を歩く	1	2	3	4
14	凸凹の路面を歩く（砂利道、舗装の悪い道などを歩く）	1	2	3	4
15	坂道を登る、または下りる	1	2	3	4
16	家族以外との活動や会合に参加する（親戚の集まりや老人クラブなどに参加する）	1	2	3	4

採点・結果

回答方法：☐ 本人記入 ☐ 面接 回答数：____／16
全項目回答時の合計：_____／64点（最低16点）
欠測1〜4項目：回答済み合計÷回答数×16を計算し、整数へ切り上げる。
欠測5項目以上：合計得点は使用しない。欠測を0点で埋めない。

参考区分：16〜19点＝低い心配／20〜27点＝中等度／28〜64点＝高い心配。転倒確率・歩行許可の基準ではありません。

日本語訳：Naoto Kamide（上出直人）。Yardley L, et al. 2005を基にした公式配布版。質問の内容・順序・配点は保持し、改ページ・配色・記録欄を変更しました。公式配布元は研究者・臨床家の引用付き無料使用を認めています。

出典・版の確認

公式日本語版・原票 ↗

Manchester大学：使用・採点・欠測・区分 ↗

FES-I｜生活と支援

B｜追加の臨床記録 ― 評価本体の得点には加えません。

氏名／ID：_____ 評価日：_____ 評価者：_____

01 結果と生活場面をつなぐ

高得点の活動と、避けている活動を照合します。点数が下がっても、活動機会の減少がないかを確認します。

本人が困っている具体的な場面／本人・家族の言葉

検査で観察した事実／生活で確かめること

02 支援を一つ試す

記入例（架空）：買い物への心配が強い。混雑の少ない時間に同行し、店内歩行と本人の心配、次回も行きたいかを確認する。

目標と、試す支援・環境・介助条件

実施日・場面	本人の行動・結果	必要な援助・負担

03 再評価

前回：_____ 今回：_____ 条件の違い：_____

次回確認すること・担当者・予定日

追加観察はSTROKE LAB独自欄です。検査の得点と、生活で実際にできたことを分けて共有します。